



双葉台だより

第65号

令和8年9月1日発行
双葉台地区住民の会



事務所 双葉台市民センター内
TEL・FAX (029)251-3991

地区防災研修会を開催！(7月25日)



「一時避難場所看板」設置作業

防災倉庫の点検

今年が最後となる夏祭りは、8月22日土曜日に開催。サヨナラ『市立開江老人ホーム』。記憶は永遠に!!

花壇コンクールへの参加等々。

三味線と民謡の披露や、住民の会も協力させていただきました。更にダンスの実演。微力ながら住民の会の盆踊り、浴衣姿の子ども達。櫓太鼓のは、所内での夏祭りです。櫓太鼓の盆踊り、浴衣姿の子ども達。フラダンスの実演。微力ながら住民の会も協力させていただきました。更に三味線と民謡の披露や、住民の会の花壇コンクールへの参加等々。

これまで、長年交流のあった施設・市立開江老人ホームの「施設廃止」についてお知らせします。令和8年度末をもって廃止する旨、水戸市より連絡とお話しをいただきました。これまでの交流の中で思い出深いのは、所内での夏祭りです。櫓太鼓の盆踊り、浴衣姿の子ども達。フラダンスの実演。微力ながら住民の会も協力させていただきました。更に三味線と民謡の披露や、住民の会の花壇コンクールへの参加等々。

今年が最後となる夏祭りは、8月22日土曜日に開催。サヨナラ『市立開江老人ホーム』。記憶は永遠に!!



双葉台地区住民の会
会長 和田 正治
昭和12年6月、
救護法に基づき、
市立開江老人ホームは、認可、設立
されました。

市立開江老人ホームと共に

当時「養老院」と呼ばれたこの施設は、昭和54年4月の全面改築を経て現在に至っています。

時を同じくして、わが町、双葉台団地が昭和53年3月頃より入居が始まり、4月には小・中学校の開校と幼稚園も開園しました。以前からの中丸町と開江町に双葉台が加わり、「双葉台地区」が形成されました。翌年4月には自治会組織、双葉台地区実践会が設立された後、現在の「双葉台地区住民の会」となりました。来々4月には小中学校が創立50周年、再来年には地区会が設立50周年を迎えます。

災害後への準備はお済みですか！

地震が続いたり、台風が大型化したりと、近年は災害のリスクが増えています。地震には家の中の家具が倒れないよう固定する対策が大切です。また、電気・ガス・水道などのライフラインに影響が出ることも考えられます。準備をしておけば、自宅での「在宅避難」が可能です。



『防災備蓄品のチェックリスト』を参考に、少しずつ準備を進めておけば安心です。

<在宅避難のために必要なもの> 最低 3 日～目標 7 日分

■飲料水・食料

- ☐ 水（1 日 3 ℓ × 家族分）・給水タンク
- ☐ 食糧（最低 3 日 × 家族分）
- ※レトルト食品、パックご飯、缶詰等、野菜ジュース、スープ、乾麺、お菓子など（普段から買い置きをしておき使ったら補充する）
- ☐ 生活用水（飲料用以外）

■道具類

- ☐ カセットコンロ・ガスボンベ（6 本）
- ☐ ラップ・ビニール袋
- ☐ 紙皿、紙コップ、割り箸など
- ☐ 蓄電池・乾電池・充電池
- ☐ 電池式の照明器具・懐中電灯
- ☐ カイロ

■医薬品

- ☐ 常備薬。お薬手帳

■衛生用品

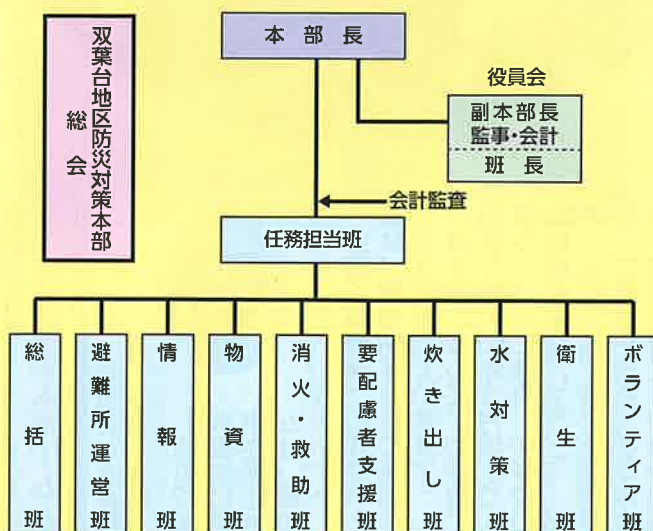
- ☐ 簡易トイレ（1 日 5～8 回 × 家族分）
- ※紙おむつ、ペットトイレ、クシャクシャにした新聞紙を凝固剤の代わりに使うことも可能
- ☐ スキンケア用品・ウェットティッシュ
- ☐ トイレットペーパー、ポリ袋

■その他家庭状況により用意するもの

- ☐ 生理用品
- ☐ 紙おむつ・おしり拭き
- ☐ ミルク・ベビーフード
- ☐ ペットフード
- ☐ ベットトイレ
- ☐ ゲージ

☆大きな地震の後には下水道管の損傷の可能性もあるので、トイレの水は流せません。

双葉台地区防災対策本部組織図

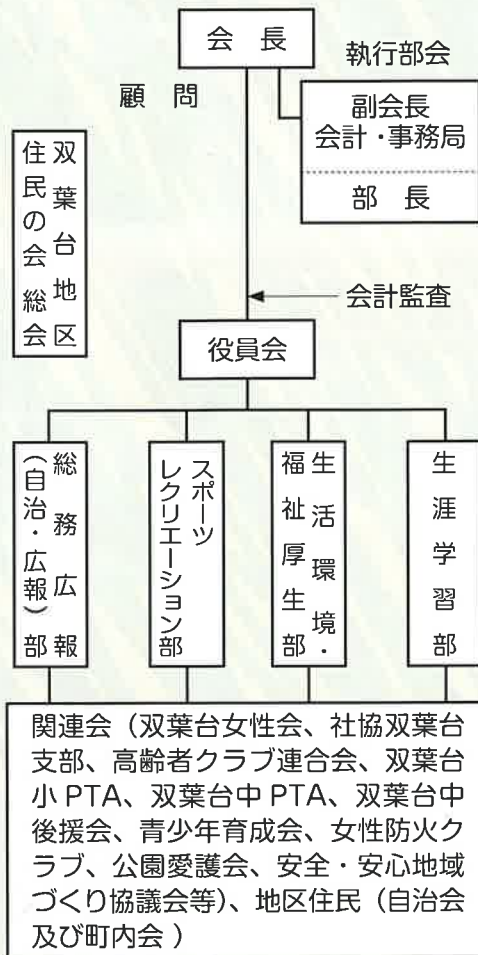


「えこみっと」の施設見学を行いました。1月21日、水戸市清掃工場「えこみっと」の施設見学を行いました。まず施設の概要の映像を見た後、係員の方の説明を聞きながら

「えこみっと」施設見学
双葉台住民の会
生活環境・福利厚生部

ら約1時間見学コースを回りました。リサイクルセンターのストックヤード、プラスチック貯留ピットと巨大クレーン、ごみ焼却施設では、ごみ搬入の様子やごみピットと巨大クレーンなどを見学、ごみ焼却の熱を利用した発電、主灰の資源化などの説明もあり、参加された方々はそれぞれ熱心に質問されていました。ごみの分別の展示もあり、特に、リチウムイオン電池（充電式）は必ず回収拠点か「えこみっと」へ。ごみの分別などに悩んだら遠慮せずお問い合わせくださいとのことでした。

双葉台地区住民の会組織図



～令和8年5月16日 住民の会 令和8年度事業スタート～ （新任部長紹介）

スポーツ
レクリエーション部長
鴨志田 修
今年度のスポーツレクリエーション部長を務めることになりました鴨志田です。微力ではありますが、皆様が楽しく参加できる活動づくりに努めてまいりますので、どうぞよろしく願います。

当部会では、10月開催予定のスポーツフェスタをはじめ、春季・秋季の球技大会、歩く会、グラウンドゴルフ大会などを実施しています。スポーツを通じて健康づくりを進めるとともに、幅広い世代が交流し、親睦を深められる機会となるよう取り組んでいます。

多くの皆様にご参加いただき、楽しいひとときを共有できれば幸いです。

- 令和8年度 主な事業計画
- 10月4日（日）
（12月まで）
双葉台地区市民スポーツフェスタ
場所等：双葉台市民センターほか
 - 11月14日（土）
ふれあいフェアin双葉台
場所等：双葉台市民センター・隣接広場
 - 11月16日（月）
清潔なまちづくり運動への協力
場所等：双葉台地区内
 - 12月6日（日）
双葉台地区市民歩く会
※コースは未定

令和8年度住民の会会計予算

収入

(単位：円)

科目	予算額
会費	373,950
補助金	961,745
社協補助金	50,000
市委託事務費	988,805
繰越金	431,298
雑収入	202
合計	2,806,000

支出

(単位：円)

科目	予算額
事務費	90,000
会議費	50,000
事業費	1,310,000
市委託事務費	988,805
通信費	80,000
印刷費	100,000
旅費	50,000
負担金	46,965
交際費	60,000
予備費	30,230
合計	2,806,000

令和7年度住民の会会計決算報告

収入

(単位：円)

科目	予算額	決算額
会費	420,000	381,300
補助金	981,700	966,295
社協補助金	50,000	50,000
市委託事務費	1,107,000	1,006,515
繰越金	491,025	491,025
雑収入	275	33,707
合計	3,050,000	2,928,842

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額
事務費	90,000	34,336
会議費	50,000	29,017
事業費	1,370,000	1,190,141
市委託事務費	1,107,000	1,006,515
通信費	80,000	66,000
印刷費	100,000	76,450
旅費	50,000	15,000
負担金	48,500	47,315
交際費	60,000	32,770
予備費	94,500	0
合計	3,050,000	2,497,544

※差引残額 431,298円（次年度へ繰越）

人との関わりの中で

双葉台小学校

校長 植松 陽子



令和 8 年度は、73 名の新生を迎えて全校児童 472 名でスタートしました。多様な他者と関わりながら学ぶ中で、お互いのよさや違いを「認め合う」ことを大切に、日々生活しています。



ふたばっ子カルタ大会

生徒の成長を地域とともに

双葉台中学校

校長 大内 邦明



双葉台中学校では、「次代を拓く「生きる力」をそなえた双中生であれ」を教育目標に掲げ、「まずは問うこと」を学校のキーワードに教育活動を進めています。学校生活のあらゆる場面で、「どうすればもっとよくなるだろう」と問いをもち、自分で考え、一歩踏み出すことを大切にしています。また、「あたり前のことをあたり前に」を土台に、日々の積み重ねを大切にしています。

令和 9 年度には創立 50 周年を迎えます。現在、記念事業や新制服のお披露目に向けた準備を進めています。これからも地域の皆様とともに、生徒の成長を支える学校づくりに努めてまいります。



授業の様子

町内会紹介

「桜の季節が楽しみ」

双葉台一丁目南町内会

会長 金山 亮治

国道が近くを通っていますが意外と静かで落ち着いた町内会です。

町内会の南東にある南児童公園は立派な桜の木が植えてあり満開になるととても見事で毎年の季節が楽しみです。

大塚池も近いので、幼稚園の脇を通って散歩されている方を多く見かけます。

年々町内会の会員数は減少していますが、地域のつながりを大切に活動できたらと思っています。



南児童公園の桜

市民センターだより

水戸市双葉台市民センター所長 五上 正嗣

双葉台市民センターでは本年度も様々な事業を行います。

教室、クラブの実施を始め「高齢者学級」「レディースセミナー」「成人講座」、双葉台地区住民の会と協力した「郷土史講座」など地域の皆さんが興味を持って参加できる事業を実施していきます。

令和 7 年度中では移動学習で牛久大仏や足利学校など多くの施設を見学しました。講演会では歴史をテーマに水戸市内に点在するお城の話などを、音楽鑑賞会では琴の演奏やサマーコン



郷土史講座



レディースセミナー



高齢者学級



洞窟酒蔵見学

編集後記

本日に最近の日本は、いっどこで災害が起きてもおかしくない時代になりました。線状降水帯による豪雨では栃木県足利市などでも大きな被害が発生し、双葉台地域も決して例外ではありません。

国では「本気の事前防災」に取り組んでいます。私たちが「この地域は大丈夫」「そのうち非常食を確認しよう」と、つい備えを後回しにしてしまいがちです。

災害は、いつ起るかわかりません。この機会に、ご家庭で防災用品や非常食を確認し、ご近所同士で声を掛け合える地域づくりについても考えてみませんか。

(中村記)